

聖徳大学大学院音楽文化研究科 博士学位論文

年度	著者	タイトル	英文タイトル	学位番号	論文要旨と 審査の要旨	書誌情報、論文等へのリンク
1	2006	青戸 知	グスタフ・マーラーの音楽におけるやわらかいリズム	博甲第13号	なし	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/search?page=1&size=20&sort=controlnumber&search_type=2&q=53
2	2008	山野井 千晴	ロッシニのオペラ作品におけるクレシェンドの技法： 『セビーリヤの理髪師II barbiere di Siviglia』と前後4 作品を比較して	博甲第16号	なし	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/60
3	2008	呉艶輝	中国河北省高洛の芸能組織における音楽の学習過程	博甲第19号	なし	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/62
4	2008	横尾 可奈子	オペラ『夕鶴』の受容から定着への過程：新聞・雑誌 の批評記事から探る半世紀	博甲第20号	なし	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/63
5	2009	松本 民栄	ローベルト・シューマンの歌曲における後奏の研究	博甲第22号	なし	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/53
6	2009	平井 李枝	グラナドスのピアノ曲集『ゴイエスカス』における間 テクスト性の研究：引用を中心に	博甲第26号	なし	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/54
7	2010	北川 葉子	ラフマニノフ作品のモチーフ操作について：ピアノ ナタ第2番op.36を題材に	博乙第4号	なし	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/43
8	2010	沈媛	近・現代中国におけるパイプオルガン	博甲第29号	なし	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/42
9	2011	紺野 さくら	リヒャルト・シュトラウスの歌曲における転調の意義： 特に演奏に関して	博甲第32号	なし	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/40
10	2011	鈴木 優	シューベルトの歌曲におけるドッペルドミナント和音 の用法	博甲第33号	なし	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/85
11	2012	津田 正之	米国統治下における沖縄の音楽教育	博乙第5号	なし	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/86
12	2012	藤原 里佳	トスティのイタリア歌曲における語りの要素について	博甲第34号	なし	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/37
13	2015	三島 理	ブラームスのピアノ変奏曲に見られる数的な関係：模 倣を使用する変奏の模倣の音程とその配列に着目して	博乙第7号	両方あり	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/253
14	2016	門脇 早穂子	日本のリズム教育におけるカステネット類の役割	博甲第42号	両方あり	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/256
15	2017	山本 真紀	「教育音楽」という用語についての歴史的考察：明治 期から大正期を中心として	博乙第10号	両方あり	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/402
16	2018	平井 裕也	オペラ『トゥルーモニシャ』におけるスコット・ジョ プリンの和声語法：減7の和音を中心に	博甲第45号	両方あり	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/474
17	2019	劉泓宣	中国における電子オルガン教育の歴史・現状・未来に 関する研究：日本との比較に基づく評価と提言	博甲第47号	両方あり	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/851
18	2020	村治 学	村治虚権の六孔尺八の研究：その創案と影響	博甲第51号	両方あり	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/1343
19	2021	高橋 健介	モーツァルトのダ・ポンテ・オペラにおけるレチタ ティーヴォ・セッコの 通奏低音 一分類と定型の使用を中心に	博甲第53号	両方あり	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/1495
20	2021	佐藤 悠太	リヒャルト・ヴァーグナー 歌劇『妖精』—イタリ ア・オペラの影響とライトモチーフの先駆的な使用	博甲第54号	両方あり	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/1496
21	2023	伊藤 仁美	幼稚園教育要領領域「音楽リズム」の成立と展開に関 する研究—リズムとの関係を中心に—	博甲第56号	両方あり	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/2000042
22	2024	麻辞珊	満族民謡に関する研究—河北省満族を中心に—	博甲第58号	両方あり	https://seitoku.repo.nii.ac.jp/records/2000228
23	2025	趙三川	電子オルガンにおける即興演奏に関する研究—応用力 の向上を中心に—	博甲第59号	準備中	
24	2025	曾靖西	電子オルガンによるタンゴの編曲と演奏—ピアノラの 「新しいタンゴ」の音楽語法を応用して—	博甲第60号	準備中	